特別進学クラスについて

秋田県立角館高等学校

特進クラスとは

四年制大学、とりわけ国公立大学を希望する生徒や学習意欲と向上心を持つ生徒を中心に、学習環境をいっそう整えて、より高いレベルでの進路実現や自己実現を達成するため、平成２７年度から「特別進学クラス（通称 特進クラス）」を設置しています。

特進クラスの目標

１．国公立大学や難関私立大への進学を目標とし、１年次から進路に対する意識を高め、切磋琢磨して学力の伸長へと向かい、進路希望を実現する。

２．受験に向けた態勢を整え、より高次な学力と豊かな教養を育てることで、他のクラスの進学希望者の良いモデルとなる。

特別進学クラス（特進クラス）　Ｑ＆Ａ

Question　特進クラスに入るためにはどうすればいいのですか？

Answer　入学時に希望を取って決定します。「入学のしおり」と同封の「特別進学クラス希望＆科目選択調査」用紙に希望の意思表示をし、「新入生課題作文」に将来の目標を記して提出してください。

Question　希望しても特進クラスに入れないときもありますか？

Answer　クラスの人数に制限があるために希望に添えない場合もあります。その際には、学校から連絡します。

Question　特進クラスから普通クラスに移ることはできますか？

Answer　１年生の途中では変更できませんが、１年生から２年生に進級する際に相談してください。状況によっては、審議の上変更できる場合もあります。逆に、普通クラスから特進クラスへの移動の場合も同様になります。

Question　特進クラスは何か特別な教科（科目）があるのですか？

Answer　特別な教科（科目）があるわけではありません。１年生のうちは、普通クラスも特進クラスも同じカリキュラムで同じ教科書を使用して授業を行います。ただし、授業の進むスピードや内容の深め方は普通クラスとは異なります。定期テストではより難易度が高い問題が含まれる科目もあります。

Question　２年生からはどんな勉強をするのですか？

Answer　２年生から文型と理型に分かれて学習します。この点は普通クラスの進学希望者と特に変わりはありませんが、現在のカリキュラムでは勉強する教科が若干違います。また、授業では普通クラスより進度が早めになるので、その分プラスαの学習を行っています。

Question　特進クラスの生徒も運動部に入って大丈夫ですか？

Answer　文化部でも運動部でも、勉強との両立はできます。確かに、勉強時間に制限があり毎日たいへんですが、その分集中して授業や家庭学習に取り組むことによって成績を向上させている生徒もいます。また、部活動での頑張りが、引退後の勉強の頑張りにもつながっていくようです。

Question　特進クラスと他のクラスでは補習の内容は違いますか？

Answer　科目にもよりますが、補習の時はレベル別に行うこともあります。科目によっては特進クラスの生徒と普通クラスの生徒と一緒に補習することもあります。特進クラスの生徒であっても不得手な科目では自分のレベルに合わせたクラスで学習できます。

Question　看護師を志望している場合は特進クラスに入った方がいいですか？

Answer　専門学校進学なら普通クラスでも構いません。しかし、看護師などの医療従事者は最近四年制大学卒の需要が増えており、当初看護学校志望でも進路研究を進めるうちに大学志望に変更した先輩も多くいます。医療分野を学ぶには、国公立大学と同様の総合力を求められます。なるべく特進コースを考えてください。

Question　特進クラスに入ると費用がかかりますか？

Answer　進路行事では特進クラスの生徒のみ参加する行事もあるので、多少は負担がかかるかもしれません。しかし、３年間通してみると進学希望の普通クラスの生徒とかかる費用はそれほど大差はありません。

Question　就職希望だが難関の公務員を第１志望にしている場合は特進クラスに入ったほうがいいでしょうか？

Answer　高卒公務員試験は倍率が高い難関です。それに挑むにあたって学力を高めるため特進を選ぼうという気持ちも分かります。しかし、公務員試験と大学入試は性格が大きく異なります。特進クラスの授業内容は大学入試に沿ったものなので、公務員希望者は普通クラスを選んだ方がいいと思います。ただし、高卒公務員ではなく、大学を経て公務員を目指す場合は、特進を希望してください。

Question　今年の特進クラスの３年生がどんな国公立大学に入ったのか教えてください。

Answer　国公立大学は、秋田大（医学部医・医学部看護・教育文化・理工）・秋田県立大（生物資源）・弘前大（教育・医学部臨床検査）・青森公立大（経営経済）・岩手県立大（社会福祉）・山形大（工）・新潟大（法）・長崎大（情報データ）などです。（３月８日現在）

特進クラスはこんな感じです！

～今年度、特進クラスを卒業した生徒の感想です～
（合格体験記より）

将来は図書館司書になりたいと考えていたため、司書資格を取得したかったのと、大学研究をして自分が興味をもった講義を受けられるいう決め手で進路先を検討しました。

後輩のみなさん、受験対策は学校生活のいろいろな場面でできます。日々の挨拶は自分のコミュニケーション力を高めるし、面接にも役立ちます。定期テストをはじめとする各科目の学習の評価は大学の出願条件を満たすことに繋がることもあるので、計画的に勉強することをおすすめします。これから大学について考える人は、学校生活のすべてが受験で使えると考えても良いと思います。辛いこともあると思いますが、諦めずに頑張ってください。

私の部活動はうまくいく日よりもうまくいかない日の方が多かったです。ですが失敗してもそこから学ぶことができる、そのように常に前向きに考えていました。落ち込むことや悩むことは真剣に向き合っているからこそ。人と人の繋がりや暖かさ、困難に向き合う力を学べたことで成長した3年間でした。

進路を決める際には自分の気持ちを一番優先してください。先生や友達と進路について考えることが多くなり、それぞれの道が見えてくるようになります。家族や先生と相談しながら進路を決定すると思いますが、たくさん悩むと思います。早く進路を決めた友達を見て焦ることもあると思いますが、学ぶのは自分なので自分を一番に考えてください。

受験勉強は早めに取りかかりましょう。私は過去問を何回も解いて、自分の苦手を見つけ出し克服につなげました。また、小論文も過去問の題を練習し、指導担当の先生に見ていただきました。

特進クラスが目標とする大学

■国公立大学……東北大学・北海道大学・秋田大学医学部・筑波大学・東京学芸大学・宮城教育大学・新潟大学など。

※秋田県内では、秋田大学・秋田県立大学・国際教養大学・秋田公立美術大学の４大学があり、近隣県内では、岩手大学・弘前大学・山形大学・岩手県立大学・青森公立大学・青森県立保健大学などがある。

※学費は大学学部の違いにかかわらず全国でほぼ同じ。（初年度納入額82万円ほど）。

■難関私立大学……早稲田大学・慶應義塾大学・上智大学・明治大学・立教大学・青山学院大学・東京理科大学・立命館大学など。

※学費は国公立大より高く、大学学部によって大きく異なりとくに理系は高め（文系の初年度納入額平均130万円ほど、理工系の初年度納入額平均180万円ほど。医療系はもっと高いところが多い）。

特進クラスの生徒が参加を推奨される進路行事の例

■夏のハイレベル講座（秋田県主催　難関大志望者を対象とした特別講義　5,000円）
■夏季特別セミナー（本校主催　予備校講師による特別講義　原則全員参加、約4,000円）
■難関大学対応模擬試験(東北大オープン模試等、約3,500円/２回）

令和５年度特進クラス人数

	男子	女子	計
１年生	２４	２３	４７
２年生	３３	３２	７５
３年生	１９	３８	５７

■同じ目標を持った仲間と一緒に頑張ってみませんか？

■進むべき目標が決まれば後は一直線。勉強があまり好きではなかった中学生のときとは違った自分が見つかります！

※ 特進クラス選択についての質問があるときは、角館高校（0187-54-2560)にご連絡ください。